
第15回 日本水大賞
2013 日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第15回日本水大賞において、栄えある「大賞」を受賞されました「マイファーム亙理協同組合」の皆様へ、一言お祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、東日本大震災に伴う大津波により、塩害や農業用水が確保されない状況にあった沿岸農地において、地域農業を再生するために農地を改良し水利を工夫した取り組みが高く評価されたものであり、皆様の御努力に深く敬意を表するものであります。

宮城県では、公共インフラの復旧により、徐々に震災前の姿を取り戻しつつありますが、一方、未だ10万人を超える方々が仮設住宅での生活を余儀なくされており、復興まちづくりや公営住宅の整備など、本格的な復興は緒に就いたばかりであります。

こうした中、第15回日本水大賞の「大賞」を「マイファーム亙理協同組合」の皆様が受賞されたことを大変心強く、また、喜ばしく思っております。

今回の受賞を励みに、今後ますます御活躍されることを祈念いたしますとともに、これまで活動を支えてこられた関係者の皆様の御尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成25年7月2日
宮城県知事 村井 嘉浩

祝 辞

「第15回日本水大賞」において国土交通大臣賞を受賞された『遠賀川地域住民の会』の皆さまへ、心からお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、遠賀川流域の水環境改善に向けて、活動団体や自治体が一同に会する「遠賀川流域リーダーサミット」を主催し、流域自治体の全ての首長が、遠賀川をより美しい川として次世代へ引き継ぐことを誓う「遠賀川流域宣言」を行うなど、多くの活動団体と行政との協働・連携に大いに貢献されたことが高く評価されたとお聞きしています。

皆さまの崇高な精神と熱心な活動に対し、深く敬意を表します。

福岡県では、「水」に関わる活動をしているNPO法人や学校、企業、行政等の交流・連携を図る「ふくおか水もり自慢！」や、河川愛護団体を中心に広く県民とともに河川の一斉清掃を行う「ふくおか川の大掃除」の開催など、河川愛護意識の普及、向上に力を入れています。

こうした中で、皆さまがこのような栄えある賞を受賞されたことは、熱心に活動を続けておられる他の団体にも大いに励みになることと思います。

今回の受賞を契機としまして、皆さまの活動が今後ますます発展し、さらに飛躍されますことを祈念いたします。

平成25年7月2日
福岡県知事 小川 洋

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

大野市の「第15回日本水大賞環境大臣賞」受賞、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

今回の受賞は、大野市の地下水保全の取り組みが住民主体の湧水地保全活動につながり、さらに湧水文化の再生を通じた地域づくりに発展させたことが評価されたものであり、これまでの活動に心から敬意を表します。

水は美しい景観や豊かな自然環境、農林水産業など「ふるさと福井」の暮らしやすさの基盤となっています。この先人が守り育ててきた貴重な資源を次世代に引き継ぎ、新しい時代にふさわしい地域づくりを進めなければなりません。

福井県では、地域が主体となった自然再生の取り組みや景観保全活動を応援しており、このような人と自然の共生の豊富さ、多様さなどが評価され、今年9月には、「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ（IPSI）第4回定例会合」が開催されます。生物多様性や自然と上手に付き合いながら暮らし続けていく地域循環性といった里地里山の魅力を国内外に紹介していく絶好の機会であり、希少な生物が多数生息する湧水地を有する大野市の活動は大きな力になるものと考えております。

今回の栄えある受賞が、県民がふるさとの良さを再認識し、将来に夢と希望を持てるふるさとづくりの手本となることを期待しています。

平成25年7月2日
福井県知事 西川 一誠

祝 辞

第15回日本水大賞の「厚生労働大臣賞」を受賞された「東京都水道局 多摩川水源森林隊」の皆様、誠におめでとうございます。

皆様は、都の貴重な水源地である多摩川源流域において、荒廃した民有林の保全管理をボランティアで行う「多摩川水源森林隊」として、これまで10年にわたり通算1200回を超える活動を行い、民有林の保全管理に大きく貢献されてきました。ボランティアによる水道水源地域の保全活動の仕組みをつくり、継続的かつ効果的に活動を実施してきていることが高く評価され、今回の受賞につながったものと考えています。

現在、都においては、東日本大震災後の新たな社会経済状況に対して、防災対策、エネルギー政策を大きな柱とした「2020年の東京」計画を策定し、その施策の中で、「水と緑の回廊で包まれた、美しいまち東京」の復活に向けた森林の保全・回復や、水辺を活用した賑わいの創出を図り、人々が憩い、集う魅力ある都市空間の再生に向けて取り組んでいます。

受賞された皆様方におかれましては、今回の受賞を契機に、水資源の保全・再生に向けて、益々ご発展ご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成25年7月2日
東京都知事 猪瀬 直樹

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

いなみ野ため池ミュージアム運営協議会の皆様、佐用町久崎自治会の皆様、第15回日本水大賞の受賞、おめでとうございます。

いなみ野ため池ミュージアム運営協議会の皆様は、東播磨地域の財産である「ため池群と水路網」を、守り、活かし、次代に継承するため、ため池清掃や、環境学習、調査研究など、地域ぐるみの活動が高く評価されての「農林水産大臣賞」の受賞です。

また、佐用町久崎自治会の皆様は、「平成21年台風9号災害の体験と教訓を後世に語り継がなければならない」。その強い思いから、地域の防災力向上のため、地域の皆さんの発案による記録誌の編纂が高く評価されての「審査部会特別賞」の受賞です。

皆様の意欲あふれる活動に心から拍手を送ります。

兵庫県は、多様な主体の参画と協働のもと、地域の貴重な財産である水辺空間の保全継承に取り組むとともに、平成24年4月に「総合治水条例」を施行し、河川下水道対策に流域対策と減災対策を組み合わせた地域防災力の向上にも取り組んでいます。

それだけに、皆様がふるさとを思い、人と人、人と地域との絆を持って活動されていることは、本当に心強いことです。

受賞を契機に皆様の活動の輪がさらに広がっていくことを期待しています。

平成25年7月2日
兵庫県知事 井戸 敏三

祝 辞

この度、盈進中学高等学校環境科学研究部の皆様が、第15回日本水大賞「文部科学大臣賞」を受賞されましたことを、心からお祝い申し上げます。

皆様は、芦田川水系において26年前からスイゲンゼニタナゴの保護活動をはじめ、さまざまな環境保全活動に取り組んでおられます。こうした活動を、長年にわたり継続・発展してこられたことが高く評価されたものと伺っております。

広島県では、国や芦田川沿川自治体等と連携し、生物生息環境の確保と人と自然の豊かな触れ合いの場の確保を目標に、水量及び水質の改善を図るための事業を実施しております。皆様の取り組みにより、多様な生物の生息環境が保たれるとともに、地域の方にとって芦田川が親しみやすい川となることを期待しております。

今回の受賞を契機に、多様性豊かな芦田川を保全していく気運がさらに高まり、皆様の活動が今後ますます発展することを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成25年7月2日
広島県知事 湯崎 英彦

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第15回日本水大賞「経済産業大臣賞」を受賞された「シャープ株式会社」の皆様、心からお祝いを申し上げます。

シャープ株式会社様におかれましては、大阪府のアドプトフォレスト制度活用第1号として、平成18年から府内の企業参加の森づくり活動のさきがけとなって森林保全活動に取り組んでこられました。

この森づくり活動以外にも、北海道 釧路湿原をはじめとしたラムサール条約湿地での生物多様性保全活動や、河川・海岸等での清掃活動など、幅広く地域に根ざした活動を続けてこられたことが高く評価され、今回の受賞につながったものであります。

長年にわたり各地で幅広い環境保全の地道な取り組みを進めておられることに、心から敬意を表します。

大阪府におきましても、流域の森林環境を守ることで、豊かな森から流れ出す水が豊かな川や海をつくるという観点から、岸和田市神於山において漁業関係者が水源の森林を保全する「魚庭の森づくり」を進めるなど、様々な環境保全活動に取り組んでいるところです。

このたび、シャープ株式会社の皆様が栄えある賞を受賞されましたことは、大阪府としましても大変心強く、今後このような取り組みがさらに広がることを期待しております。

今回の受賞を契機に、皆様の活動が益々発展することを祈念いたしますとともに、活動を支えてこられた関係の皆様へ心から感謝申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成25年7月2日
大阪府知事 松井 一郎

祝 辞

第15回日本水大賞「市民活動賞」を受賞された「鴨川を美しくする会」の皆様、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

「鴨川を美しくする会」におかれましては、山紫水明の京都を象徴する鴨川の美化活動を、48年もの長きにわたり続けられており、数多くの団体が参加する鴨川合同クリーンハイクを主催されているほか、パネル展示等の啓発活動や、子供達の河川環境教育等様々な活動をされておられます。

とりわけ、河川美化啓発を目的とした「鴨川納涼」並びに「鴨川茶店」は、府民の皆様はもとより、多くの観光客にも親しまれているところです。

今回の受賞は、これらの地域に根ざした長年にわたる活動が、地域の活性化にも寄与すると期待されたものと伺っており、大変誇りに思いますとともに、皆様の御尽力に深く敬意を表する次第です。

京都府といたしましても、鴨川が安心・安全で美しく親しまれる川として、次の世代に引き継ぐため、京都府鴨川条例に基づく様々な取組を府民協働のもと進めているところであり、今回の受賞は大変喜ばしく心強い限りです。

今回の受賞を機に、皆様の活動が、ますます発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成25年7月2日
京都府知事 山田 啓二

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第15回日本水大賞国際貢献賞を受賞された「上総掘りをつたえる会」の皆様に、心からお祝い申し上げます。

皆様は、31年もの長きにわたり、千葉・上総の国から全国に広まった上総掘りの技術を水不足で悩む東南アジアの人々に伝え、生活環境の改善のために井戸の建設や水道を敷設するなど、国際社会において水の大切さを訴え、水供給の活動に御尽力してこられました。

このたびの受賞は、岩盤で井戸の建設が困難な地域においても、山の湧水を利用した簡易水道やトイレを小学校に設置して、子どもたちの教育環境を大きく改善したほか、現地ボランティアに高い技術を継承するなど、皆様のこれまでの国際貢献の行動が高く評価されたものであり、そのひたむきな熱意と取り組みに深く敬意を表します。

現在、千葉県では、印旛沼や手賀沼において、環境学習や湧水の保全など、地域の方々と協働した流域の水循環健全化による水質浄化対策を進めております。皆様の「命の水」を贈り続ける活動と今回の受賞は、こうした地域の取り組みの励みにもなるものです。

今回の受賞を契機に、今後皆様の国際協力の活動がますます発展し、関係国との架け橋となられますことを祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

平成25年7月2日
千葉県知事 森田 健作

祝 辞

高川学園中学・高等学校科学部の皆さん、「第15回日本水大賞未来開拓賞」の受賞、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

皆さんが、長年に渡り継続的に行ってこられたオオサンショウウオの生態研究やその成果を地元の人々に伝える等の活動により、地域でのオオサンショウウオ保護意識を高めたこと、また、今後、保護活動のさらなる展開によって地域の活性化に結びつくことが期待されると評価されたことが今回の受賞につながったものと伺っており、心から敬意を表します。

山口県では、多自然川づくりを目指して、河川の流域全体の生態系をより豊かにするために、川の中のいろいろな生きものの一生や川全体の特性を把握し、その水辺にふさわしい効率的な改善事業を行う「水辺の小わざ」の取り組みなどを行っているところであり、河川環境の保全に関する皆さんの取り組みの成果を、今後の河川整備の参考とさせていただきたいと考えております。

今回の受賞を励みに、高川学園中学・高等学校科学部の皆様が今後ますます御活躍されることをお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成25年7月2日
山口県知事 山本 繁太郎

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第15回日本水大賞「未来開拓賞」を受賞されました「NPO地域づくり工房」の皆様、誠におめでとうございます。

平成14年の組織設立以来、ミニ水力発電をはじめとするエコプロジェクトを通じて蓄積された、技術面、運営面における成果は、先進事例として全国から注目されており、今後のミニ水力発電の推進・発展に大いに寄与するものと受け止めています。

また、アルプスと水のふるさと大町市という地の利を活かし、観光スポットと発電所を結びつけたエコツアーを全国から受け入れるなど、地域経済の振興にも貢献されております。「ミニ水力発電」を核として、人と自然が向き合い、人と人が結びつく。そして新たな地域社会が生まれていく。まさに地域の未来を拓くフロントランナーとして期待するところです。

長野県としましても、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」をめざすべく「しあわせ信州創造プラン」（新たな総合5ヵ年計画）をスタートさせたところであり、皆様の活動をとっても頼もしく感じております。

最後に、皆様のご努力に敬意を表しますとともに、今後ますますご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成25年7月2日
長野県知事 阿部 守一

祝 辞

「佐賀市上下水道局下水浄化センター」の皆さま、第15回日本水大賞「未来開拓賞」の受賞、誠におめでとうございます。

野菜の植え付け体験に収穫作業体験。汚泥堆肥を混ぜた畑に苗を植える子どもたちの楽しそうな笑顔に、佐賀市上下水道局下水浄化センターが市民に喜ばれる施設として着実に歩みを進めていることがうかがえます。

下水を浄化してきれいな水にする。下水浄化センターとしてはそれだけで十分だったかもしれませんが、しかし、皆さまは、そこから一歩踏み出されました。海苔栽培の時期に放流する処理水については、栄養塩類濃度を調整し、海苔の良好な生育にも資するようにする。下水汚泥を堆肥化し、臭気が少なく病原菌に対する抵抗力も高い田畑の栄養剤として活用する。マイナスをゼロにするだけでなくプラスにしようとするその姿勢が、漁業や農業などさまざまな分野で活躍する人たちとの協力体制を築き、市民の笑顔に繋がっているのだと思います。

今後も、「市民が集まりやすく、魅力のある施設」として、ふるさと佐賀から日本の、そして世界の新しい未来を切り拓いていただくことを期待いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成25年7月2日
佐賀県知事 古川 康

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第15回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞された岐阜県立岐山高等学校生物部の皆様、2013日本ストックホルム青少年水大賞「審査部会特別賞」を受賞された岐阜県立多治見北高等学校自然科学部の皆様に、心からお祝い申し上げます。

岐阜県立岐山高等学校生物部は、研究成果に基づいて、生態系に配慮したホタル保護活動を提言され、地域住民や将来のリーダーとなる子どもたちに「生態系を守る大切さ・難しさ」を伝え、岐阜県立多治見北高等学校自然科学部は、河川や森林のヒートアイランド抑制効果を実証し、環境保全に対する市民の意識を高めました。両活動共に、環境教育としての模範になるものと高く評価されたと受け止めています。

岐阜県では、平成22年6月に開催した第30回全国豊かな海づくり大会を契機として、「清流の国ぎふづくり」を重要施策とし、3つの柱「清流を守る」、「清流を活かす」、「清流を伝える」を県民総参加により推進しています。

このような受賞された方々の取り組みが「清流の国ぎふづくり」に資することであり、今後ますますご活躍されることを期待するとともに、活動を支えてこられた関係の皆様のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉とします。

平成25年7月2日
岐阜県知事 古田 肇

祝 辞

第15回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞されました、「飯梨川再生ネット」の皆様、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

「飯梨川再生ネット」の皆様は、宍道湖・中海の再生を願い、中海への流入河川である飯梨川の環境保全を始められました。竹や雑草が生い茂っていた河川敷を、行政との協働により「空に開けた河川空間」へと再生され、この活動を継続させるため、牧草栽培に取り組んでこられました。また、整備した親水ひろばを市民の憩いの場として活用するなど積極的な維持管理に努めておられます。こうした地域と一体となった活動が高く評価されたものと思います。

島根県では、川づくりの基本理念に「安全で安心して暮らせる県土をつくる川づくり」、「健やかな地域を育てる川づくり」、「豊かな自然を守る川づくり」の三つを掲げ、住民との連携、協働による取り組みを行っています。

今回の受賞を契機に皆様の活動が今後ますます発展することを祈念いたしますとともに、これまでのご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成25年7月2日
島根県知事 溝口 善兵衛

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

山陽女子高等学校地歴部の皆さんが、2013日本ストックホルム青少年水大賞において「大賞」を受賞されましたことを心からお祝い申し上げます。

皆さんは、「海底ごみ」という一般に認知度の低い環境問題に着目し、海底ごみの継続的な回収活動と実態解明を行うとともに、積極的な啓発活動にも尽力されており、このたびの受賞は、こうした活動により海底環境の浄化と問題の認知度向上に大きく貢献したことが高く評価されたものと伺っております。

岡山県は、自然豊かな瀬戸内海に面しており、海からさまざまな恵みを享受しています。皆さんの取り組みは環境保全活動にとどまらず、地元瀬戸内海の景勝地としての魅力、漁場としての価値をより高める大変素晴らしい活動であると感銘を受けました。

皆さんが先駆的な取り組みで栄えある賞を受賞されたことを、大変心強く思います。今後も地域の環境問題に対し強い信念を持って取り組まれ、問題解決に向けて継続的に活動いただけるよう期待しております。

今回の受賞を契機に、皆さんが今後ますますご活躍されることを心から祈念いたしますとともに、活動を支えてこられた関係者の皆様のご尽力に敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成25年7月2日
岡山県知事 伊原木 隆太